

七月一日第三十七回連絡懇談會

對獨通告文及外相御説明案ニ關スル件

一出席者前同ノ通り

二對獨通告文ニ就キ外相起案ノ別紙ニ依リ研究シ原案通り決定ス

右ニ關聯シ塚田參謀次長ト外相ノ間ニ左記論議アリ

次長 外務大臣ノ通告文ハ統帥行動ニフレルヘカラス

外相 我輩ハ混合委員會ノ長ナルヲ以テ統帥行動ニモフレル

次長 統帥行動ニハ混合委員會ノ長ト雖モフルヘカラス之レハ

軍ノモノガ折衝スルコトニナツテ居ル

三尙左記ノ論議アリ

外相 陸軍ハ武力的準備ヲヤルノカ

參謀總長

準備ヲヤル先ツ在滿部隊ヲ戰時體制トナシ次テ攻勢ヲ取
リ得ル様ニスル衝動ヲ與ヘス様スルニハナカナカ苦心ヲ
要スル

參謀次長

準備ハヤル而シテ乍ラヤリ得ル最小限ノ兵力ヲ整ヘテヤル
積リナリ ムチヤクチヤニ澤山ノ準備ヲヤル考ヘハナイ
暇 海軍モヤルカ

軍令部長

潜水艦百隻ノ整備ヲ準備スル必要アリ

總相

在滿部隊ヲ動員スル必要アリ而シテ密カニヤルト云フコト
ハ充分研究ノ要アリ

商相

物ノ見地ヨリ申上ケル陸海軍カ戰爭ヲヤルコトニナレバ
物ノ見地カラ國力ハナイモノト思フ

陸海軍共ニ武力行使ヲヤラレルガ爾面戰爭ヲヤルタメノ
物ハ持タヌ 陸軍ハ早速動員ヲヤラレルガラウシ又海軍
モ準備ヲスルダラウ 船ヲ徴發セラルルカラ物カ取レナ
クナリ生産力擴充軍備充實等ニモ大ナル影響ヲ及ボス
英米「ソ」ニ對シ不敗ノ態勢ヲ取ルト云フコトヲ研究ス
ル必要アリト思フ

南滿カ北滿カ實重ニ研究セラレ度

帝國トシテハ物ハナイ

不敗ノ態勢ト支那事變解決カ此ノ際必要ナノテハナイカ
鈴木企畫院總裁 自給圖以外ニ期待シアル不可欠重要物資ニ就キ説明
シ統帥部モ研究セラレ度ト述フ

参謀次長

外相起業ノ對獨通告文及外相御説明案ナカナカウマク出
來テ居ルテハナイカ

外相

始メカラ出セハコンナニ延ビナカツタダラウ
皆ノ意見ヲ聞イタカラウマク出來タノダ

第四四 御前會議

議題 「情勢ノ推移ニ伴フ帝國國策要綱」

日時 七月二日午前十時ヨリ十二時迄二時間

場所 官中

出席者 杉山參謀總長

塚田次長

永野軍令部總長

近藤次長

近衛總理大臣

原樞密院議長

林外相

東條陸軍大臣

平沼內務大臣

河田大藏大臣

及川海軍大臣

鈴木國務大臣兼金堂院總裁

富田內閣書記官長